

令和5年度 減圧弁・水位調整弁保守点検業務  
仕 様 書

弘前市上下水道部上水道施設課

第1条 適用範囲

本仕様書は、表題の業務(以下「本業務」という。)に適用する。  
本仕様書に定めのない事項は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。

第2条 目的

本業務は、減圧弁及び水位調整弁の保守点検を行うことで、機械本来の性能を維持し、故障の未然防止及び欠陥部の早期発見に努め寿命の延命を目的としたものである。

第3条 委託期間等

- ・委託期間 契約日翌日 から 令和6年3月31日まで
- ・減圧弁保守点検 年5回(昼間)  
原ヶ平第1・2減圧弁、十面沢第1・2減圧弁、葛原減圧弁、愛宕第1・2・3減圧弁、国吉減圧弁、常盤野第1・2・3減圧弁、百沢第1・2減圧弁、杉山減圧弁、上弥生第2減圧弁  
上弥生第1減圧弁、新岡第1・2減圧弁  
(計19箇所)
- ・水位調整弁保守点検 年6回(昼間)  
石川水位調整弁  
(計1箇所)

第4条 保守点検対象箇所

本保守点検の対象となる付属設備は下記のとおりである。

減圧弁・水位調整弁保守点検業務 (20箇所)

名 称	型 番	口 径	住 所	点検回数
原ヶ平第1減圧弁	MRF-100+MM型	φ 400	原ヶ平字山中地内	5回
原ヶ平第2減圧弁	PR-71型	φ 350	原ヶ平字山中地内	5回
十面沢第1減圧弁	MRF-100型	φ 150	十面沢字浜妻ノ神地内	5回
十面沢第2減圧弁	MRF-500型	φ 150	笹館字福山地内	5回
葛原減圧弁	MRF-100型	φ 150	葛原字茂上地内	5回
愛宕第1減圧弁	MRF-100型	φ 200	愛宕字三嶋地内	5回
愛宕第2減圧弁	MRF-500型	φ 200	愛宕字山下地内	5回
愛宕第3減圧弁	MRF-500型	φ 200	愛宕字三嶋地内	5回
国吉減圧弁	MRF-100型	φ 250	国吉字中川原地内	5回
常盤野第1減圧弁	MRF-500型	φ 150	常盤野字湯段菰地内	5回
常盤野第2減圧弁	MRF-100型	φ 75	常盤野字湯段菰地内	5回
常盤野第3減圧弁	MRF-100型	φ 75	常盤野字湯の沢地内	5回
百沢第1減圧弁	MRC-500型	φ 100	百沢字笹平地内	5回
百沢第2減圧弁	MRC-100型	φ 150	百沢字寺沢地内	5回
杉山減圧弁	MRC-500型	φ 100	百沢字東岩木山地内	5回
上弥生第1減圧弁	MRC-100型	φ 50	百沢字東岩木山地内	5回
上弥生第2減圧弁	MRC-100型	φ 100	百沢字東岩木山地内	5回
新岡第1減圧弁	MRE-100型	φ 200	百沢字東岩木山地内	5回
新岡第2減圧弁	MRC-500型	φ 200	新岡字片付地内	5回
石川水位調整弁	LB-10	φ 250	石川字大仏下地内	6回

第5条 作業計画

作業計画は、監督職員と事前に打合せを行い、受注者が作業計画書及び実施工程表を作成し提出する。

## 第6条 業務内容

- (1) 一次圧の確認と設定二次圧の確認及び調整
- (2) ケレップの開度確認
- (3) ニードルバルブの点検
- (4) パイロットバルブの点検(パイロット高)
- (5) ストレーナーの点検
- (6) ビット内の排水作業及び弁体の清掃
- (7) タイマー調整
- (8) 電磁弁の点検
- (9) 異常作動の調整(断水を伴わないもの)

ただし、監督職員の指示及び点検結果により調整が必要と判断される場合は、監督職員と打ち合わせのうえこれを行うこととする。

## 第7条 報告書作成

点検完了後、報告書を作成するものとする。

受注者は発見した異常の分析を行い、今後の減圧弁及び水位調整弁の補修計画案と維持管理業務の方向性について考察・提言を行うものとする。

## 第8条 成果品の提出

下記成果品一覧を参照のこと。

番 号	名 称	提出部数	提出期限	備 考
1	減圧弁・水位調整弁保守点検業務報告書	1	点検月毎 (成果物)	・現場写真については点検箇所ごとに撮影すること。 また、写真には撮影月日、作業内容を記入のこと。
	・位置図			
	・減圧弁・水位調整弁保守点検業務総合評価			
	・減圧弁・水位調整弁点検調書			
	・現場写真帳			
2	その他		点検終了後	・監督職員の指示によるもの

## 第9条 検査及び代金の請求

受注者は、点検月の作業終了後に遅滞なく減圧弁・水位調整弁点検報告書及び写真を各1部提出し、全ての点検終了後に検査を受け、代金の請求をするものとする。

## 第10条 環境配慮に係る取り組み

受注者は当課が実施する環境配慮に係る取り組みへ可能な限り協力すること。

## 第11条 暴力団又は暴力団関係者による不当介入に対する通報・報告義務

受注者は、受注者及び下請負人に対して暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合は、警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。

## 第12条 その他

1. 保守点検を行うときは、交通誘導員を配置させ、交通の妨げや近隣の住民に迷惑のかからないよう配慮すること。
2. 保守点検を行うときは、点検3日前までに監督職員へ連絡すること。
3. 保守点検を行うときは、道路交通法・労働安全衛生法を遵守し、事故防止に努めなければならない。
4. ビット内に入るときは、酸素欠乏症を防止するため、事前に酸素濃度を測定し安全を確認した上で点検を行うこと。
5. 受注者は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持つとともに、業務の遂行にあたっては、「弘前市情報セキュリティポリシー」を遵守すること。
6. 受注者は、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに基づき、感染予防対策を実施すること。  
実施にあたっては、新型コロナウイルス感染予防対策実施手順によるものとする。

ガイドライン

<https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/content/001412231.pdf>

実施手順

<https://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/ken-gijutsu.html>